

自然環境局自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室

1. 事業の概要

本年5月に神戸で開催されたG8環境大臣会合では、生物多様性が気候変動、3Rと並んで議題となり、「神戸・生物多様性のための行動の呼びかけ」にG8各国が合意した。同じく7月に開催されたG8洞爺湖サミットにおいても、首脳宣言に生物多様性の重要性が盛り込まれるなど、生物多様性に対する国際的な関心が高まっている。

また、本年5月にドイツ・ボンで開催されたCOP9において、COP10の2010年愛知県名古屋市開催が決定され、わが国としては、COP10議長国として、国際的なイニシアティブを発揮し、これまで以上に世界的な生物多様性保全に向けた貢献が期待されているところ。

これらを受け、ポスト2010年目標 やABS等、COP10の主要議題について積極的に関与し、わが国がリーダーシップを発揮できるよう以下の事業を実施する。

- (1) 生物多様性条約主要議題への対応の推進
「ポスト2010年目標」等主要議題について検討、条約の主要議題等に関する専門家会合の開催
- (2) 専門家派遣等事業
日本の専門家の生物多様性条約関連会合への派遣等による国際貢献
- (3) 2010年目標達成評価、ポスト2010年目標検討
2010年目標達成評価、ポスト2010年目標検討に関するアジア地域会合の開催
2010年目標：2010年までに生物多様性の損失速度を著しく減少させる
ABS：遺伝資源へのアクセスと利益配分

2. 事業計画(平成21年度～平成22年度)

- (1) 生物多様性条約主要議題への対応の推進 (平成21～22年度)
- (2) 専門家派遣等事業 (平成21～22年度)
- (3) 2010年目標達成評価、ポスト2010年目標検討 (平成21～22年度)

3. 施策の効果

生物多様性条約COP10日本開催に向けて生物多様性分野での国際的なリーダーシップの発揮と国際的なパートナーシップの強化を図る。

生物多様性分野における、日本人専門家の活動を支援することを通じ、国際的な議論への貢献を図る。

4. 備考

- (1) 生物多様性条約主要議題への対応の推進 17百万円
- (2) 専門家派遣等事業 6百万円
- (3) 2010年目標達成評価、ポスト2010年目標検討 10百万円

生物多様性国際イニシアティブ推進調査

2008年5月 神戸 G8環境大臣会合
「神戸・生物多様性のための行動の呼びかけ」

2008年7月 北海道・洞爺湖 G8会合
首脳宣言に「生物多様性の重要性」



2008年5月 ドイツ・ボン
生物多様性条約第9回締約国会議において
COP10の愛知県名古屋市開催決定

生物多様性条約主要議題への対応の推進
条約主要議題に関する専門家会合開催
COP10主要議題についての検討など

2010年10月：
生物多様性条約COP10
愛知県名古屋市開催

- ・2010年目標目標年
- ・国連の国際生物多様性年

対応

専門家派遣等事業
日本の生物多様性分野専門家等の条約関連
会合への派遣など

想定される<主要議題>

- ポスト2010年目標
(2010年以降の条約実施の枠組み)
- 遺伝子資源へのアクセスと利益配分(ABS)
- 生物多様性と気候変動
- 保護地域、沿岸、海洋、山岳地域
- 民間参画

2010年目標達成評価・
ポスト2010年目標検討支援
COP10での議論に向けたアジア地域会合
開催など

<効果>

- ・COP10議長国として生物多様性分野
での国際的なリーダーシップを発揮
- ・COP10における成果、会議の成功